



Sustainable Community Center Japan

NPO

New Public Organization
欲しいものは自分達で創る

2018 年度 活動報告書

2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日

2019 年 2 月 21 日

特定非営利活動法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター
<http://www.sccj.com/>

目次

はじめに 「2018年度の報告と今後の抱負」

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」
 - 1-1. どこカル. ネットの活動概要
 - 1-2. どこカル. ネットのサービス概要
 - 1-3. どこカル. ネットの各種活動実績
 - 1-4. どこカル. ネット運営体制

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業
 - 2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要
 - 2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績
 - 2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」
 - 3-1. アグリライフの活動概要
 - 3-2. アグリライフの各種活動実績
 - 2-3. アグリライフの運営体制

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）
 - 4-1. 京都研究会

5. 広報・マーケティング
 - 5-1. 各種メールリスト運営
 - 5-2. Web サイト運営

6. 会員について

II センター運営に関する活動

1. 総会開催
2. 2018年度 SCCJ 理事会開催日
3. 事務局体制
4. 理事、監事、顧問

はじめに 「2018 年度の報告と今後の抱負」

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センターは、2018 年度の活動を終えて、2019 年度を迎えることになりました。2018 年度は、私たちの中心的な事業となりました「どこカル ネット」事業を継続的に進めることができました。「どこカル ネット」の定期的な会員研修会の開催、そして総務省「地域 ICT 利活用広域連携事業」地域共通診察券運営協議会も予定通り進めることができました。その結果、ポケットカルテの開発と普及推進、地域 ICT 利活用広域連携事業「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」の推進、また恒例になっている「未来のお医者さん・看護師さん」作文コンクールも実施することができました。

毎年、大きな注目を集めている私たちの主催事業「京都研究会」は第 20 回という節目の年を迎えました。京都研究会(2018-2019)はテーマとして「少子高齢化・人口減少社会に対して、私達は ICT で何が出来るか?」を掲げて、2019 年 1 月 25 日 13 時~18 時まで同志社大学今出川・烏丸キャンパス(志高館)において約 30 名の参加者を得て開催されました。50 年後には日本の総人口は約 3 分の 2 になると考えられていますが、そのときに、日本各地のコミュニティは持続可能になっているかどうか大きな問題になっています。そしてその処方箋として ICT の活用が鍵になっています。今回は徳島県神山町における IT 企業展開、地域農業における情報機器の活用、小規模事業者へのスマホによる生産性向上支援、スマートグラスによる高度専門職業人への支援を取り上げて報告を行い総合的に議論しました。ICT の多様な応用の可能性とそれを活用することで地域や企業・産業の活性化、専門機関の技術改良などの可能性が示されたように思います。

2019 年度においても、私たちは持続可能なコミュニティを実現するために、努力を続けて行きたいと思えます。2015 年に国際連合総会で決議された「2030 年アジェンダ」は「持続可能な開発のための 17 の目標(いわゆる SDGs)」を掲げて、「誰一人取り残さない」ことを基本としてすべての国々がこれを進めていくことにしました。私たちも SDGs を地域で実現するために、2019 年を通じて活動を進めて行きたいと思えます。その中でも、従来の活動をしっかりと継続し、ポケットカルテや地域共通診察券の普及促進をたゆまず進めたいと考えています。

この 1 年間、会員各位、関係各位には、大変お世話になりました。2018 年度は、皆様方のご支援によって、当初考えておりました成果をほぼ予定通りに達成することができました。皆様のご協力がなければ私たちの活動は成り立たないということを、改めて深く認識しているところです。改めまして深く御礼を申し上げます。そして、引き続きまして 2019 年度においても、皆様のご指導ご鞭撻、そしてご助力が必要です。皆様方からのご助勢を賜うことができますよう、改めましてお願い申し上げます。

2019 年 2 月吉日

特定非営利活動法人

日本サステナブル・コミュニティ・センター

代表理事 新川達郎

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」

<http://www.dokokaru.net>

1-1. どこカル. ネットの活動概要

どこカル. ネットは、近年、少しずつ普及しはじめた医療機関毎の電子カルテシステムをインターネット上で安心・安全に相互利用するための仕組みをつくることで、いつでも、だれでも、どこでも、安心・安全で質の高い医療を受けることが出来るような（すなわち、どこでもカルテが見ることが出来るような）地域の情報化を住民の手で実現しようというプロジェクトとして、2004年5月に開始。

「どこカル. ネット」プロジェクト開始以前に、北岡顧問が支援してきた3つの二次医療圏を経て、現状、50の二次医療圏の地域中核病院に対して標準化型電子カルテの導入支援や情報化支援を行っている。

また、2008年10月より、個人の健康履歴（検診データ管理、紹介状管理、入退院サマリー）を、インターネットを介して携帯端末やPCを用い、個人主体で管理可能なサービス「ポケットカルテ」の本サービスを開始している。

1-2. どこカル. ネットのサービス概要

■特徴：いつでも、どこでも、だれでも、安心安全で質の高い医療を受ける事が出来る社会的な仕組み作り

【1】 いつでも：ASP型電子カルテをツールとして、「かかりつけ医（診療所）」と「病院」で24時間体制の連携を目指し、診療情報の共有（一地域一患者一電子カルテ）を行う。（注：ASP型電子カルテとは、インターネットエクスプローラーなど、ホームページ閲覧ソフトのみで利用可能な電子カルテのことである。）

【2】 どこでも＝ユビキタス：「みあこネット方式普及支援事業」プロジェクトとの協業により、医療機関内だけでなく、患者＝住民の自宅や外出先での急病で初診した医療機関、救急現場に居合わせた医療関係者に過去の診療情報を共有やその情報に基づく適切な医療が可能。

【3】 だれでも：ITコンソーシアム京都（京都府・京都市・京都商工会議所と有識者で構成）医療情報化部会との協業で進められている「共通診察券（無償）」を持つ事で、適切な医療を受けることが可能。

【4】 安心安全：「みあこネット方式普及支援事業」の高度なセキュリティを持った公衆無線インターネット用アクセスルータ（無線基地局）を利用。また、医療従事者や患者＝住民の識別や認証には、「共通診察券」と「指静脈紋認証（生体認証のひとつ）」を組み合わせている為、世界最高レベルの環境を提供している。さらに、診療情報の共有により、薬アレルギーや現在内服中の薬との飲み合わせのチェック等がその場で可能。→医療過誤防止へ。

【5】 質の高い健康・医療・福祉：共有されている診療情報の内、本人のご承諾が得られた情報については匿名化し、「その地域の住民特有の」健康・医療・福祉情報として統計解析し、「その地域の住民に最適な」健康・医療・福祉環境を探求する。また、解析結果を基に、一人一人の住民に最適な健康・医療・福祉をテラーメイドで提供。

1-3. どこカル. ネットの各種活動実績

2017年度は以下の活動を実施した。

■「どこカル. ネット」事業会議

週1回、北岡顧問、スタッフ一同で定例会議を実施。2018年度においては計47回の会議を開催した。

■ 医療機関・学術団体向けの医療情報システム・医療関連システム導入・構築・更新に対するコンサルテーション

医療機関側に不足しがちな IT スキルを補い、助言をし、医療機関と同じ立場で導入ベンダと交渉等を行う。また、医療情報を適切に扱う体制作りや、問題解決に対する助言、支援を実施。2016 年度終了迄に定期的な支援を行った医療機関は 50 病院。2017 年度以降は休止している。

■ 「ポケットカルテ」～個人向け健康情報管理サービス～の普及活動

「ポケットカルテ」は当法人顧問である独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長北岡有喜博士が企画・考案し、当法人がサービスを提供している個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス (PHR : Personal Health Record) で、利用者は、専用のサイト「ポケットカルテ」に会員登録し、携帯電話・PHS、スマートフォン、パソコンなどの情報端末から自身の健康・医療・福祉の情報を管理することができる。

2008 年秋からサービスの提供を開始し、様々なメディアで紹介され、正式サービス開始から 4 ヶ月間 (2009 年 1 月時点) で、10,000 ユーザーを突破した。サービス開始当初に対応していた携帯電話・PHS に加え、普及が目覚ましいスマートフォンやタブレット端末にも対応し、より多くのユーザーが快適に利用できるようになり、現在 (2018 年 12 月末時点) 59,026 人のユーザーが実利用している。

2011 年 11 月より開始した「ポケットカルテ電子版お薬手帳」サービスでは、医療機関で発行される領収書に印字された「2次元バーコード (QR コード)」経由で、調剤情報、及び、医療費明細書情報をポケットカルテに取り込むことができる。

2015 年 7 月にリリースした iOS 版ポケットカルテの新たな QR コード読み取り機能により、保健医療福祉情報システム工業会 (JAHS) が推奨する QR コードの読み取りにも対応したため、現在 (2018 年 12 月時点) では、全国 2~3000 店舗の調剤薬局が対応薬局となった。

2017 年 11 月にポケットカルテの iOS アプリの新バージョン (2.0) を AppStore にリリースした。今回のバージョンアップで母子健康手帳の記録・閲覧機能が追加された。

① 一般社団法人ケーブルテレビ連盟との協業によるケーブルテレビ事業者への「ポケットカルテ」の提供

現在、一般社団法人ケーブルテレビ連盟と協業することで、J:COM グループ以外のケーブルテレビ事業者に対して、自宅のテレビから「ポケットカルテ」にアクセスして自身の受診履歴や薬歴を簡単に閲覧できるサービスを提供するための取り組みを行っている。特に、全国のケーブルテレビ事業者が随時導入を進めている新製品「Smart TV Box」を活用して、受診履歴・薬歴データが自動的にデータ転送される装置として使用できるように、昨年度より継続して作業を進めている。

② 競争的資金による研究や各学会におけるポケットカルテ利活用の広がり

厚生労働科学研究費難治性疾患等克服研究事業 (難治性疾患克服研究事業) 「小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究」(田口班) 等、競争的資金による研究がなされ、各学会等においてもポケットカルテの利活用が広がっている。

■ 地域共通診察券 (すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業

昨今の医療の高度化や患者ニーズの個別化・多様化により、医療機関への負担が増加しているにも関わらず、京都府では医療機関の減少が続いている。このため他の都道府県と同様に、地域医療格差・医師偏在、救急患者や妊婦のたらい回しなど、地域医療における課題が顕在化しつつある。

これらの課題を解決するため、当法人を代表とし、京都市・宇治市・城陽市・久御山町・奈良県生駒市の推薦を受け、平成 22 年度・23 年度に、総務省「地域 ICT 利活用広域連携事業」に「地域共通診察券 (すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」(以下、「地域共通診察券事業」とする) を提案し、採択された。

地域共通診察券事業は、上記「ポケットカルテ」を情報基盤とし、地域共通診察券発行・健康医療福祉履歴管理・医療圏リソース管理を統合的に提供することにより、地域医療に関わる医療資源 (医療従事者・医療機器・設備) をひとつの仮想巨大医療機関とみなして有効活用し、質の高い安心・安全な地域医療提供体制を確立するための情報基盤整備を目的としている。



サービス概念図

2012年3月で総務省「地域ICT利活用広域連携事業」は終了したが、自立的に地域共通診察券事業を継続し、対象地域の拡大、広報活動などを行った。2013年12月には京都府京田辺市、2014年には愛知県名古屋市（名古屋掖済会病院）でサービス提供を開始し、「地域共通診察券（すこやか安心カード）」が利用可能な医療機関は、102件（18病院、36診療所、48調剤薬局、2018年12月時点）となった。また、京都府腎臓病患者協議会などと連携し、広報活動を行うことにより、「地域共通診察券（すこやか安心カード）」の実利用者数は25,275名（2018年12月31日時点）となった。

■ 北海道帯広市「総務省平成28年度補正予算 ICTまち・ひと・しごと創生推進事業に係る提案の公募」

平成28年12月2日、帯広市から北海道総合通信局に企画提案書を提出し、無事受理された。

平成28年12月22日、総務省情報通信政策課からのヒアリングが実施された。

平成29年2月8日、帯広市から総務省へ申請書類一式が提出され、平成29年2月27日、補助金交付が決定された。

本年度は「個人番号カード活用による電子お薬手帳等 Android IP-STB 向けアプリケーション連携機能開発」を進めており、平成29年11月6日よりフィールド試験が開始した。平成29年12月20日時点で7名のモニターユーザーが利用している。

■ 平成28年度「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」ならびに「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会の実施

地域共通診察券事業の進捗状況の共有と、今後の事業展開等についてのディスカッションを行うため、毎月第3木曜に運営協議会を実施した。また、同日同会場にて、地域共通診察券事業に関連するテーマにおける「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会を実施した。

<地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会 開催日>

平成30年1月18日	第89回「地域共通診察券運営協議会」
------------	--------------------

	第80回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 30 年 2 月 15 日	第90回「地域共通診察券運営協議会」 第81回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 30 年 3 月 15 日	第91回「地域共通診察券運営協議会」 第82回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 30 年 4 月 19 日	第92回「地域共通診察券運営協議会」 第83回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 30 年 6 月 21 日	第93回「地域共通診察券運営協議会」 第84回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 30 年 8 月 17 日	第94回「地域共通診察券運営協議会」 第85回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 30 年 10 月 18 日	第95回「地域共通診察券運営協議会」 第86回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 30 年 12 月 20 日	第96回「地域共通診察券運営協議会」 第87回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会

今後も、「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」を通して、医療の情報化、地域住民の健康増進への貢献、電子行政サービスの普及を推進し、さらに利用者の統計データの活用により新しいサービスを創造することを目指していく。



写真：地域共通診察券運営協議会での様子

■ 「どこカル ネット」会員研修会

本プロジェクトの概要と現状、進捗状況等について情報共有すると共に、会員互の連携・親睦を図る機会として2ヶ月に一度開催。2018年度においては6回の研修会を開催した。

<研修会開催日>

- ・ 2018年1月19日（金） 第80回どこカル ネット会員研修会
- ・ 2018年3月23日（金） 第81回どこカル ネット会員研修会
- ・ 2018年5月25日（金） 第82回どこカル ネット会員研修会
- ・ 2018年7月27日（金） 第83回どこカル ネット会員研修会
- ・ 2018年9月28日（金） 第84回どこカル ネット会員研修会
- ・ 2018年11月16日（金） 第85回どこカル ネット会員研修会



写真：会員研修会での様子

■ 「未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」の実施

将来の医療従事者の育成・発掘、また創造的な医療分野の開拓を目的とし、小学生を対象とした作文コンクールを実施。

第14回目の開催となる2018年度は、全国の小学生から作文が応募され、全国各地偏りなく400字詰めいっぴいに書かれた力作が多く集まった。最優秀賞該当作品はなかったものの、未来の医療に対し多くの子供達が夢を抱いていることがどの作品からも読み取ることができ、開催の意義が感じられた。

■ 2018年の主なイベント一覧

- ・ 01月11日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月18日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月24日：長崎県議会事務局様ご視察
- ・ 01月18日：第89回(平成29年度第10回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 01月18日：第80回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 01月19日：第19回京都研究会2017~2018
- ・ 01月19日：どこカル. ネット第80回会員研修会
- ・ 01月25日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月29日：「ICT地域活性化大賞2017」&「地域情報化アドバイザー全体会議」
- ・ 02月01日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月01日：宮崎市健康管理部様、情報政策課様ご視察
- ・ 02月02日：SCGJ総会(どこカル. ネット事務局)
- ・ 02月05日：宮崎市公明党島田様行政視察
- ・ 02月08日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月15日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月15日：第90回(平成29年度第11回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 02月15日：第81回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 02月15日：【日本経済新聞】掲載(ゲームで運動 端末開発 アルカディア、介護施設や病院向け)
- ・ 02月21日：【J-LIS】第17回経営審議委員会(3/1予定)の事前説明
- ・ 02月22日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月23日~24日：【総務省事業定例会】帯広すこやかネット事業システム開発及び検証業務第2回定例会(実績報告会)
- ・ 03月01日：【J-LIS】第17回経営審議委員会
- ・ 03月08日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月15日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月15日：第91回(平成29年度第12回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 03月15日：第82回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 03月15日：第91回(平成29年度第12回)総務省「地域ICT利活用広域連携事業」地域共通診察券運営協議会開催
- ・ 03月16日：ITコンソーシアム京都第13回委員会・シンポジウム開催予定(京都リサーチパーク)
- ・ 03月22日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月23日：どこカル. ネット第81回会員研修会
- ・ 03月29日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月29日：【智頭町】官民データ活用推進計画について打ち合わせ参加(智頭町役場)
- ・ 04月05日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月12日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月19日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月19日：第92回(平成30年度第1回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 04月19日：第83回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 04月23日：【J-LIS】第18回経営審議委員会参
- ・ 04月26日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月10日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会

- ・ 05月12日：【利用の達人】運用WG参加（大分市民病院）
- ・ 05月17日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月24日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月25日：どこカル. ネット第82回会員研修会
- ・ 05月31日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月07日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月14日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月21日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月21日：第93回（平成30年度第2回）「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 06月21日：第84回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 06月21日：【J-LIS】第19回経営審議委員会参加（テレビ会議）
- ・ 06月28日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月05日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月09日：ITコンソーシアム京都平成30年度総会にて講演予定（メルパルク京都）
- ・ 07月12日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月13日：【公明党】県会議員谷井勲先生ご訪問（京都医療センター）
- ・ 07月19日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月23日：【京都大学】中村先生、美濃先生とご面談予定（京都大学 学術情報メディアセンター）
- ・ 07月26日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月27日：どこカル. ネット第83回会員研修会
- ・ 08月02日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月09日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月17日：第94回（平成30年度第3回）「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 08月17日：第85回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 08月17日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月23日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月30日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月05日：「富士通エグゼクティブフォーラム in 京都」参加（京都ホテルオークラ）
- ・ 09月06日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月13日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月20日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月21日：【IBM ブロックチェーンコンソ】第1回幹事会出席予定（都内）
- ・ 09月27日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月28日：どこカル. ネット第84回会員研修会
- ・ 10月11日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月18日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月18日：第95回（平成30年度第4回）「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 10月18日：第86回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 10月25日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月01日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月07日：埼玉県越谷市議会議員 行政視察予定（京都医療センター）
- ・ 11月08日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月15日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月15日：岡山県立岡山操山中学校 学生4名視察
- ・ 11月16日：どこカル. ネット第85回会員研修会
- ・ 11月22日：【J-LIS】第20回経営審議委員会参加
- ・ 11月23日～25日：第19回日本医療情報学会学術大会参加
- ・ 11月26日：【WebEX参加】IBM ブロックチェーンコンソーシアム（医療・製薬）
- ・ 11月29日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月30日：【近畿総合通信局】地方局地域情報化アドバイザー会議参加
- ・ 12月06日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12月13日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会

- ・ 12月15日：平成30年度厚労科研・AMED合同第2回田口班会議（コアメンバー会議）参加
- ・ 12月20日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会
- ・ 12月20日：第96回（平成30年度第5回）「地域共通診察券（すこやか安心カード）発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 12月20日：第87回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 12月20日：IPA加賀谷様ご講演の情報セキュリティセミナー開催
- ・ 12月27日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」プロジェクト定例会

1-4. どこカル ネット運営体制

■ 運営体制 <http://www.dokokaru.net/modules/tinyd0/index.php?id=7>

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
事業運営責任者	事業統括責任者兼務	
総括技術責任者	事業統括責任者兼務	
技術運用責任者 (情報通信技術担当)	小森 由宗	NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター
財務責任者	事業統括責任者兼務	

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
國領 二郎	慶應義塾常任理事

【企業/企業会員】

種別	企業名	企業名
企業会員	アイテック阪急阪神株式会社	一般財団法人聖マリアンナ会
	株式会社アドバンスト・メディア	泉工医科工業株式会社
	株式会社医用工学研究所	大日本印刷株式会社
	株式会社インスパイア	株式会社テノ・ホールディングス
	株式会社 EnhanLabo	とнами衛星通信テレビ株式会社
	株式会社帯広シティーケーブル	株式会社ナイス
	亀田医療情報株式会社	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
	京都電測株式会社	日本システム開発株式会社
	株式会社KC N京都	日本デジタル配信株式会社
	KDDI株式会社	株式会社ハートネットワーク
	サトーヘルスケア株式会社	株式会社フェイス
	ジャパンケーブルキャスト株式会社	富士通株式会社
	ジュピターテレコム株式会社	株式会社ミライテクノ
	株式会社スカイコム	メディカル・データ・ビジョン株式会社
	スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社	リコージャパン株式会社

他4社、計34社（50音順、2018年12月末現在）

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業

<http://www.miako.net/>

2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要

みあこネットとは、市民の手で自分の住んでいる地域を情報化しようというプロジェクトで、当法人の呼

びかけにより 2002 年 5 月から広がり、市民有志の負担でアクセスポイントを設置・運用する活動である。企業内、家庭内におけるネットワークへ、安心・安全に基地局を運営し、また利用者にとっても簡単に公衆でインターネット接続を利用できる方法として、VPN を利用した「みあこネット方式」を提唱し、同方式の普及支援活動を実施してきた。

プロジェクト開始から 2005 年 3 月末までの 3 年間は、SCCJ を運営母体とする実証実験を実施。2005 年 4 月～2008 年 3 月末は、京都の地域プロバイダ「京都アイネット」での商用運用の採用があり、地域内情報バリアフリーの一役を担った。同社は 2008 年 3 月をもって、「みあこネット方式」を用いた商用運用を終了している。

2008 年 4 月からは、「みあこネット方式」に準拠したサーバをパッケージ化し、京都大学や京都医療センター独自の運用として自律分散的に運用されてきた。現在は新たなプロジェクトを休止している。

2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績

本年度の活動実績なし

2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

■ 運営体制 <http://www.miako.net/about/organization.shtml>

【みあこネット責任者】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」

<http://www.agri-life.net/>

3-1. アグリライフの活動概要

ICT を活かした安心・安全な食と農のある暮らしの根ざす地域社会作り、都市と農村の持続可能な交流と産業モデル作りを行う。なお、アグリライフは 2005 年より実施している「ここちネット」の掲げる理念「障害の有無や、性別、年齢にかかわらず自律性、自発性、創造力を発揮できる安心・安全な社会モデル作り」はそのまま踏襲し、2009 年 6 月 1 日付けで発展的改称した事業である。アグリライフの事業は、上記理念を掲げる事業を行う主催事業と、他団体・企業に対する企画立案、各種支援事業に分けられる。アグリライフは、2011 年 1 月末をもってすべての事業を終了し、現在は新たなプロジェクトを休止している。

3-2. アグリライフの各種活動実績

本年度の活動実績なし。

3-3. アグリライフ運営体制

■ 運営体制

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	隅岡 敦史	NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）

4-1. 京都研究会

毎年恒例となっている研究会事業の京都研究会について、2018-2019年度は2019年1月25日（金）に開催を予定している。内容は以下の通り。

■ 第20回京都研究会 2018-2019

<http://www.sccj.com/kk/2018-2019/>

「少子高齢化・人口減少社会に対して、私達はICTで何が出来るか？」

【内容】

- 12:30～ 受付開始
- 13:00～13:05 開会の挨拶：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）
- 13:05～13:50 「ICTが開く地域社会の未来～徳島県神山町の事例から～」
講演：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）、佐野 淳也 氏（同志社大学政策学部准教授）
- 13:50～14:20 「人口減少社会における地域農業の課題と展望～ICT化の鍵とは～」
講演：隅岡 敦史（NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事）
- 14:20～15:10 「小規模サービス業の生産性向上に資するスマホだけで可能な業務支援」
講演：竹原 司（インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション最高顧問/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事）
- 15:10～15:25 休憩
- 15:25～16:15 「少子高齢化・人口減少社会に対して、私達はICTで何ができるか？～スマートグラスについて～」
講演：北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター顧問）
- 16:15～16:20 ステージ調整
- 16:20～16:50 【総合討論会】『少子高齢化・人口減少社会に対して、私達はICTで何が出来るか？』
コーディネータ：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）
- 16:50～ 閉会の挨拶：竹原 司（インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション最高顧問/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事）

第2部 分科会（茶話会）：閉会后～18:00

【会場】同志社大学烏丸キャンパス 志高館 SK289 教室

住所：京都市上京区烏丸通上立売上る相国寺門前町 647-20

電話：075-251-3120 【参加費】有料

・研究会（13:30～）のみの参加

一般：1,000円

SCCJ会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方公共団体職員の方：無料

・研究会、分科会（閉会后～18:00）すべて参加

一般：2,000円

SCCJ会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方公共団体職員の方：無料

【運営体制】

主催：特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター

後援：京都市、京都新聞社、ITコンソーシアム京都

【定員】30名

5. 広報・マーケティング

Webサイト、プレスリリース、各種メールリングリストでの広報・マーケティングを行った。

5-1. 各種メールリングリスト運営

SCCJ関連で、テーマ、目的別のメールリングリストが10数本あり、ネット上で協働作業や情報交換を行っている。その中でも一般情報交換用メールリングリスト「aibousan」は、誰でも入れる双方向型のメールリングリ

ストで、設立当初の1999年の190名から、2018年12月末に登録者は539名である。

5-2. Web サイト運営

2018年現在運営しているサイトは以下の通り。

- ・ SCCJ <http://www.sccj.com/>
- ・「みあこネット」方式普及支援事業 <http://www.miako.net/>
- ・ どこカル. ネット <http://www.dokokaru.net>
- ・ ポケットカルテ <http://pocketkarte.net/>
- ・ アグリライフ <http://www.agri-life.net/>

6. 会員について (2018年12月末現在)

<SCCJ 正会員>

会員種別	継続	新規	計
一般	26	1	27
学生	0	0	0
合計	26	1	27

<どこカル. ネット企業・団体会員>34社
詳細は「どこカル. ネット」項目を参照のこと。

II センター運営に関する活動

1. 総会

特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター 総会

日時： 2018年2月2日(金) 18:00-18:30

会場： どこカル. ネット事務局(京都市伏見区深草枯木町33-1-303)

2017年度活動報告・収支報告、理事の改選、2018年事業、定款変更について了承された。

2. 2018年度 SCCJ 理事会開催日

下記の日程に於いて、理事、事務局スタッフによる定期理事会を開催した。

- ・ 2018年1月18日
- ・ 2018年2月15日
- ・ 2018年3月15日
- ・ 2018年4月19日
- ・ 2018年5月17日
- ・ 2018年6月21日
- ・ 2018年7月19日
- ・ 2018年8月17日
- ・ 2018年9月20日
- ・ 2018年10月18日
- ・ 2018年11月15日
- ・ 2018年12月20日

3. 事務局体制 (2018年12月末現在)

(1) 職員

常勤：1名

どこカル. ネット事業運営責任者：事業統括責任者兼務

プロジェクト・コーディネータ：小川麻理

どこカル. ネットボランティア：5名

4. 理事、監事、顧問 (2018年12月末現在)

(50音順)

代表理事	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
理事	竹原 司 (副代表理事)	インフォグリーン株式会社代表取締役社長／株式会社デザイン・クリエイション最高顧問／社団法人コンピュータソフトウェア協会理事・名誉会員
	平澤 創	株式会社フェイス代表取締役社長
	隅岡 敦史	静原ミレットファーム
監事	土井 充	公認会計士 土井充事務所
顧問	跡田 直澄	京都学園大学経済経営学部教授
	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
	國領 二郎	慶應義塾常任理事
	辻 正次	学校法人八代学院神戸国際大学経済学部教授
	町田 洋次	元社団法人ソフト化経済センター理事長
	三木 秀夫	弁護士・大阪 NPO センター理事

以上